

報告案件（2）おいでんバス高齢者及び子ども向け施策の実績報告について

（2）-1 高齢者向け定期券「おでかけパス 70」クーポン券配付事業の事業評価について

1 「おでかけパス 70」クーポン券配付事業（実証実験）について

（1）事業概要

○市内在住の70歳以上の高齢者を対象とした高齢者向け定期券「おでかけパス 70」（以下「パス 70」）の利用者に対して、観光・文化施設等10カ所で利用可能な期間限定のクーポン券を配付。

【事業目的】お出かけ目的の創出（外出促進）による、健康寿命の延伸、おいでんバスの利用促進

- ・クーポン券配付期間：令和7年11月1日から令和8年1月31日（3か月）
- ・クーポン券有効期間：令和7年12月1日から令和8年2月28日（3か月）
- ・クーポン券配付枚数：定期券の月数に応じて配付（1か月3枚、2か月6枚、3か月9枚）
- ・9月補正で予算計上、事業費は約1,800千円（委託費、負担金等）

（2）事業の周知等

- ・10月～ 現利用者への案内送付、市HP掲載、11月広報とよた掲載、とよたNOWでの放映

2 販売実績及び利用状況からの考察

（1）販売実績について（クーポン券配付期間中の定期券販売実績（枚数は1か月換算））

販売月	R6	R7	事業効果
R7.11月	190枚	256枚	昨年同月比35%増（新規登録23名）
R7.12月	211枚	241枚	昨年同月比14%増（新規登録10名）
R8.01月	171枚	212枚	昨年同月比24%増（新規登録15名）
期間合計	572枚	709枚	昨年同期間比24%増（新規登録48名）

- ・パス70の販売枚数は、昨年同期間比で24%増、新規登録者は41%増
- ・クーポン券を活用し、高齢者の外出促進のきっかけを作る利用促進策として評価できる

（2）①クーポン券の引換率及び利用率について

有効枚数	総配付枚数（引換率）	総利用枚数	利用率	
			対有効	対配付
1,953枚	1,203枚（61.5%）	764枚	39.1%	63.5%

- ・期間中にパス70を購入した利用者の約4割がクーポン券の引換えをせずにサービスを終了
- ・クーポン券の引換えを行った利用者の約4割弱がクーポン券を利用せずにサービスを終了

②施設別のクーポン券利用状況

施設名	利用枚数	提供サービス
旭高原元気村	0枚 0.0%	雪ゲレンデ入場料 など
三州足助屋敷	6枚 0.1%	機織り 竹ひごコースター作り など
どんぐり工房	2枚 0.1%	餅花作り体験 梅ジュース付き など
どんぐりの里いなぶ	217枚 28.4%	どんぐりの湯入浴、五平餅、豊田茶 など
小原和紙のふるさと	2枚 0.1%	はがき漉き体験 など
香恋の館	0枚 0.0%	クラフト体験とコーヒーケーキセット
手作り工房山遊里	0枚 0.0%	ソーセイジづくり体験とジェラート など
西山公園	44枚 5.7%	球根詰め放題 など
博物館ミュージアムショップ	350枚 45.8%	こいけや養蜂園とよたのはちみつ
美術館レストラン・ミュゼ	143枚 18.7%	ケーキドリンクセット

- ・施設利用状況に偏りがみられ、立地条件や実施期間による差が出たものと推察
- ・パス70の購入目的が医療機関への通院等の場合、提供サービス内容に関心が低いと推察
- ・クーポン券の引換えが可能な利用者にクーポン券が届かない状況は改善の余地あり

3 アンケート結果からの考察

・パス70購入対象者に対し、施策評価のためのアンケート調査を実施（R8.2月末時点、N=299）

■年齢		■家族構成		■運転免許証		■外出の目的	
70-74歳	22%	一人暮らし	29%	持っている	32%	公共施設の利用	30%
75-80歳	28%	夫婦	30%	持っていたが返納	35%	買い物	54%
80-84歳	25%	夫婦で子どもと同居	16%	持っていない	31%	医療機関	49%
85歳以上	20%	子どもと同居	18%	不明	1%	友人との交流	20%
不明	4%	その他	3%			趣味・娯楽	27%
		不明	4%			その他	12%
						不明	18%

■クーポン利用満足度		■クーポンの評価		■施策の継続希望		
		高評価	低評価			
非常に満足	24%	内容・対象施設	81%	11%	強く思う	66%
満足	50%	利用方法	59%	8%	やや思う	27%
やや不満	15%	金額や枚数	80%	11%	あまり思わない	3%
不満	3%	利用できるメニュー数	55%	36%	全く思わない	1%
不明	8%	利用期間(3か月)	50%	44%	不明	3%
		利用時期(12~2月)	32%	53%		
		配付場所(n6のみ)	53%	36%		

■施策効果	強く思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない	不明
外出のきっかけになった	48%	32%	8%	3%	10%
おいでんバスに乗るきっかけになった	45%	35%	6%	5%	10%
健康的になった	27%	39%	18%	7%	10%
人との交流が増えた	23%	38%	26%	7%	7%
地域に愛着が湧いた	25%	42%	15%	7%	12%
新たな趣味や関心が生まれた	22%	36%	22%	8%	13%
新しい施設を知ることができた	29%	33%	17%	9%	13%

- ・クーポン利用の満足度では74%が高評価（非常に満足+満足）であり、施策効果としては80%が外出やおいでんバスに乗るきっかけとなったと回答。事業目的である「健康寿命の延伸」「おいでんバスの利用促進」に寄与
- ・一方で、「クーポン券利用期間（3か月）の短さ」、「利用シーズン（12~2月）の見直し」について多くの意見あり

3 令和8年度の事業に向けて

- ・アンケート結果等からも、事業全般に対する評価は高く、事業目的にも寄与すると考えられるため、引き続き取組を進めていく
- ・評価分析により、①クーポン券の引換率や利用率の向上（配布方法等の見直し）、②クーポン券利用期間や利用シーズンの見直し、③高齢者への効果的な周知、などの課題を把握できた
- ・今後はこれらの課題を踏まえ、実施時期や配布方法、対象施設の拡大などについて、見直しや改善を加えながら、事業目的に沿った取組を進めていく

(2) - 2 子どもたちの公共交通機関の利用促進に向けた「子どもモニター事業」の事業評価について

1 子どもモニター事業について

(1) 事業概要

子どもたちが公共交通機関を使った移動を通じて、地域の魅力を再発見し、外出先での様々な体験や学びにつながる機会を創出することや、公共交通に親しみを持つことで日常的に利用する意識を育むきっかけづくりになることを目指して、子どもモニターを募集し、小児用マナカを用いた移動データの収集を行う。

- ・子どもモニター：市内在住の小学生 187 人
- ・小児用マナカ：2,000 P を付与して配付。ポイント総数 374,000 P
- ・ポイント利用可能な公共交通機関：名古屋鉄道、おいでんバス、名鉄バス、リニモなど
(※ J R や愛環は使用不可)
- ・事業費：約 1,100 千円 (負担金等)

(2) 事業の周知等について

- ・10月7日 報道機関へ発表、以後市公式 SNS、きずなネット等で広報を実施
- ・11月18日 小児用マナカを発送

2 小児用マナカの利用状況 (令和 8 年 2 月 16 日時点)

利用人数	101 人 (利用率 54%) ※有効期限の定め無し
利用ポイント	82,730 P ※おいでんバス 8.8%、名鉄バス 7.4%、その他 83.8%

- ・現状は、利用ポイントの 8 割以上が名古屋市方面等への鉄道利用と想定
⇒ポイント付与だけでは利用者を名古屋市方面への移動に誘導し、バス利用は限定的と推測
- ・利用率が低い理由として、事業の開始時期 (1 1 月下旬から開始) が影響していると推測

3 アンケート結果からの考察

- ・モニターの保護者に対してアンケート調査を実施 (R8.2 月末時点、N = 144)

【考察】

- ①子ども向けの利用促進として、交通系 IC (小児用マナカ) とマイレージポイントの活用に対する満足度、効果ともに高い評価
- ②保護者は公共交通の利用自体を「小さな社会体験 = 教育機会」と認識し、公共交通を遊び・体験学習の活動範囲を広げる重要な手段として位置付け
- ③実施時期として、夏休み期間のニーズが高い理由は、公共交通の練習期間として自由研究や体験活動等と関連付けるのに最適であり、教育的意味が強いと想定

→子ども向けの利用促進は、公共交通を「移動手段の一つ」として認識させる効果が期待でき、将来にわたって公共交通利用意識の醸成を育むきっかけとなり得ると考えられる

■応募理由

普段から公共交通機関を使っているから	19%
2,000pt がもらえるから	59%
小児用 manaca が欲しかったから	38%
公共交通に関心が高いから	31%
公共交通機関の利用方法を学ばせたいから	73%
その他	5%

■実施時期について

今回の時期(11月)が良い	51%
GW 期間が良い	13%
夏休み期間が良い	58%
冬休み期間が良い	15%
その他	6%

■2,000pt の使用目的

習い事へ行くため	8%
友人の家へ行くため	2%
親族の家へ行くため	16%
通学のため	1%
遊び・体験学習のため	71%
通院のため	0%
買い物のため	20%
その他	9%
その他	9%

■遊び・体験学習の具体的な目的地

豊田市駅	12 人
豊田市駅周辺の商業施設※ 1	10 人
名古屋駅	9 人
その他の駅 ※ 2	9 人
豊田スタジアム	8 人
名古屋市科学館	7 人
豊田市博物館	4 人
大須	4 人

※ 1 : イオンシネマ豊田 KITARA、T-FACE、GAZA
※ 2 : その他の駅として具体的には知立駅、リニモ駅など

■事業による効果

	強く思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない
以前より公共交通機関を使う機会が増えた	28%	44%	19%	8%
今後も公共交通機関を移動手段の 1 つとして検討したい	49%	42%	6%	2%
公共交通機関の利用に自信を持つようになった	44%	43%	10%	3%
公共交通機関に親しみを持つようになった	50%	43%	6%	1%

■事業への満足度

	非常に満足	どちらかと言えば満足	普通	どちらかと言えば不満	不満
申請方法	72%	15%	10%	2%	0%
manaca のデザイン	60%	19%	18%	1%	1%
ポイント数 (2,000pt)	75%	19%	6%	1%	0%
事業の周知方法	33%	36%	26%	4%	0%
全体の満足度	62%	28%	8%	2%	0%

4 令和 8 年度の事業に向けて

- ・現段階では小児用マナカの利用は限定的ではあるが、子どもに対するおいでんバスの利用促進事業を検討する上で貴重なデータを入手することができた。特に、利用可能な公共交通機関を限定せずにポイントを付与した場合、バスの利用促進には想定以上につながることが把握できたため、今後は検証結果を踏まえた見直しが必要である。
- ・アンケート結果から、保護者は子どもに公共交通の利用方法を学ぶ機会を与えたいと思っており、市としても公共交通利用の機運醸成を図るためにも、バス利用に限定したポイント還元策を実施することが最善であると考えている。
- ・令和 8 年度には、交通系 IC ポイント還元システムを構築し、バス利用に応じて後日ポイントで還元する事業により目的に沿った事業を展開していく。